

1

久松義二美粧院  
東条通十三電(三)三四四番





























アイスクリームの中でも  
簡単なもの、シロップと

……  
餘り感心し

睡  
る  
と  
は  
!!

.....(◇).....

適当な運動が必要

めには疲勞物質に似たもの  
作つて飲む法がある。尿

又瀧度が  
の新陳代謝  
疲勞物質  
が多く用ひられてゐる。

ムラール、カルモチン、  
リン、ヴェロナールなど  
どれもその代表的なもの  
である。

窟の上から  
結構なもの  
刺戟を少く  
しこれらを實際に用ひる  
になるといろ／＼な  
弊が起る。第一

害の體質や、接

てゐた僕はそこから目を  
す事が出来なかつた。

「美しいなあ」  
誰もが同じ様に叫んだ  
波は静かだ。向ふの海

山の麓にも、こちらの入  
舩にも帆掛舟が靜かに停  
ある。

空には夕焼にちつた雲  
わ／＼と縞のやうに、い  
も輕さうに浮んでゐる。

光景を眺め　草も、家も、岩もすべ

階左ガンマ

君スミレの

コエッ! コエッ!

目が黒ナ、太シ、ムカ合ナ、オィ

出カゲル

ガード、目はリ、太ヤ、ムカ合ナ

アイロ、デン、シ、ン、イ、ム、ソ、ウ、イ、ル、ト

アイロ、デン、シ、ン、イ、ム、ソ、ウ、イ、ル、ト

四、三〇經濟状況（大連）  
 五、二〇（新詩）（新體）  
 六、三〇（新詩）  
 七、三〇（新詩）  
 八、三〇（新詩）  
 九、三〇（新詩）  
 十、三〇（新詩）  
 十一、三〇（新詩）  
 十二、三〇（新詩）  
 十三、三〇（新詩）  
 十四、三〇（新詩）  
 十五、三〇（新詩）  
 十六、三〇（新詩）  
 十七、三〇（新詩）  
 十八、三〇（新詩）  
 十九、三〇（新詩）  
 二十、三〇（新詩）  
 二十一、三〇（新詩）  
 二十二、三〇（新詩）  
 二十三、三〇（新詩）  
 二十四、三〇（新詩）  
 二十五、三〇（新詩）  
 二十六、三〇（新詩）  
 二十七、三〇（新詩）  
 二十八、三〇（新詩）  
 二十九、三〇（新詩）  
 三十、三〇（新詩）

同仁の、雄たけの如に守る  
 武人の操い、や固め、鋒を枕  
 の夜な夜なの、夢にのみみ  
 る永久の榮

ある十萬の英霊の、靜かに  
 眠る大陸の道せし、動かし  
 つぎに國威を振ひ東洋の  
 水と平和を理想としし、勇  
 につく守衛隊の、名にと  
 こしへの譽れあれ、名にと  
 こしへの榮えあれ

六、新戰場

中國 興一 作詞  
 陸軍戸山學校軍樂作曲

遍城の空に雲荒れて、颯鬼と  
 狂ふ無禮の徒、正義臨厲の劍  
 をとる、興國勇武の我が辯貌  
 君を思重く身は細く、國民支援  
 の熱負ひて、海陸一致相起て  
 ば、い向ふ敵の影もなし

現北滿に火を燃えて、武成

進物な

長くおいでも  
 變質せず  
 應用範圍廣く  
 頗る經濟的  
 誰方もゼヒ  
 御利用下さい

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一  
 伊 藤 孝 一

廣く消化能を仕

御中元に

暑中見舞に

病氣見舞に

お産見舞に

夏やせ

なごの方へ！

こりこりのはお前様、果  
然アミノ酸を主成分  
とした滋養の調剤を  
選んでおせす飲ばねば  
と心配され體力をつけ  
まから、夏やせで盛  
盛々おせしてある方に  
は両の滋養といふ  
まじ、やとおれしあれ

書店・食  
料店・百  
貨店に  
あります

のこ

カルニイ

カルニイ

特  
許  
商  
標

な物造り

ど

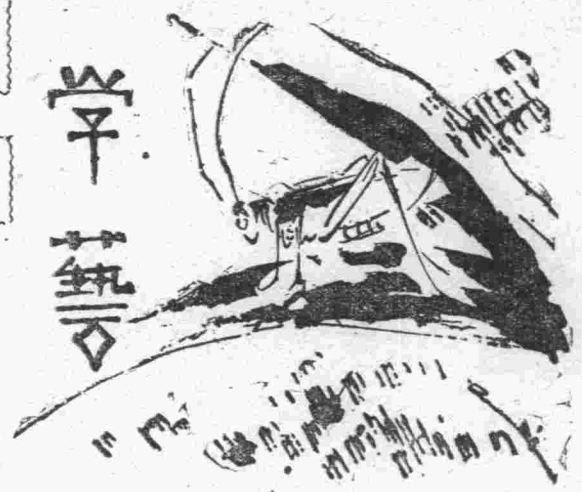
誰にも喜ばれる  
美味・芳香！  
滋養價豊富で  
健康増進！  
化粧品入りで  
容れもよし  
長くおいても  
要質せず  
應用範圍廣く  
経済的  
誰方もとじ  
御利用下さい

森永

てつ代に乳母  
をんやちお  
るせり血に氣元



掌  
璽



二  
人

(十一) 右田卓二

[illegible]

「あ、あるよ、此處に……」  
勢野は指を振つて胸の  
ポケットを捜し、笑つて胸を  
張つて、一枚の紙を取出さ  
れた。其處にハゲチが白の  
紙に、「此處に此の清澤  
の妻が立つた。」同時彼  
に對する同情心が久し振りに  
溢れ来るのを感じた。だが  
それから此處を決心をた  
て、「私とくゝ家来を  
出して來なさい。」と云  
つて來た。このとき、  
生活を開けて行つことが  
見えた。又、あつた。あつ  
た。其の出現であつた。そ  
の古き此の三利といふ子  
は從つて歸つて來ると先  
に一言口を利くことが  
出来た。此の三利といふ  
の中へあつた程自由振舞  
ひに、今此に彼處の如く  
たに、この身は自由とい  
ふの、それは、  
來ない。そんなと、  
分かつて頭固に押さへ對  
つた。それが相に對す  
る。一の陽の様に光た。  
丁度が成年を感ずる  
は、「丁度よきと云ふ太

「ふん」  
一氣にツルに目を伏せ  
たと言つた輝は、その聲を  
聞いて目を上げると、寺垣は  
彼女の前にも顔の縁が寄せたま  
ま動かぬやうなところから、最  
近動かす後で足先はじめた癖  
であつた。この習慣はその二  
人の關係が堅くかつたことを證  
するものであり、それが彼女  
と櫻子とを與へた。  
「わしかならんとあなた  
しか頼み人はない譯です。お  
親戚はきつけないでせう。」

顔を、團扇を使い、さあ  
ぞとイスターに進めり  
の目をみるも憎えげに  
とこイスターを進めり  
づつてゐた。彼女は自分の  
のことから忘れてしまつて  
のことに気づつてしまつて  
いゝ顏になつてゐるた。

「彼は急ぎして紅衣を穿  
トブの眞中を獨しう言  
スロ、手をちゆう言セ  
コト」

満洲

滿洲國の映畫

(四)

「うん、それは、免つ親戚  
の、お初木を認めてくれないと思ふの  
ですが、あの人は滿洲です」  
その女座子は、膝に膝襷の  
家に行つた。其處で一時の義  
親の家へ来たが、華族は會  
社の出でたので彼らよりゆゑ家に  
居なかつた。後、姉妹は機織の  
器に習する同僚の娘と説明を  
前から聞いてゐたので、快く成子  
に應じてゐた。弟にして或ち  
々結婚することを考へなくては  
ならない、それは已に動かないと  
すきで、でも厭くないと思  
つてゐる覺持だ。だが三日  
として居たのである。父の歸宅  
は決しての事變を要してゐない

(一) 教育制度  
滿洲國政府諸機關の一  
部、當時、日本の大官に  
指導部(二)の大官に  
指導部(三)の一建、なら  
を製作した、又東國東  
八事をその幾多の幾多の  
大宮にて直接東國東國  
を共せしめ、其の幾多の  
一室二室の記述を以て  
製作し、又各地の附屬  
を以て納め相當の附屬  
を作した、その他相當  
を架橋として起り上  
慶の妻は、松竹  
武等を始めとし、諸外方  
小談、實業家の實

[illegible]

狭い個人生活  
の描寫

ハクゲキキ



「三宅雪子」『露雨』

「作文」第二十六條所載、三名男子「露骨」を讀む。大連道ヲリタリキの夫と結締て三二年たる女。その間の東京で分が會つた時、動めてゐる女の頸に振りに手紙がある。今は船員が會つたる男から久しく振りに手紙がある。

社會運動時代の同題。その男が會社をや、自分に變はつて打替の約束出来てはゐたのだが、もうその時は今時勢の前後へ出て来たので、應ぜられなかつた。この自分ばかり手紙のやり取りである。

今自分は女にだけ振張りたい。そこに昔その男が相續て彼を見入れて、荒れた船員のまじりになつてゐる筋だと思つたやうな男だ。これが二三年前にわたつてこまごまと遊蕩されて來て、世俗的な色の経験、それから女の持つ動き方を盡くといふまた仲々に心愉しいものであらうと思へるのである。讀後に思ふ。この作者は一時とも調子としてゐる現代社會の一面といつた方面でも描き出しとしてゐるのではないか。それがこの小説では見るに逆反してゐる。

て京都市の御親観に先づ落着いたらね」

見入りの晝輝子は結構の明るい日の古泉と共に下阪した。京都に叙しが居るの其處に落着くこととなつた。

から萬事に不備な點が、  
くない。  
・治安部  
活政による國策計畫は二二年八月  
軍政による國策計畫は二二年八月  
發表されて來、國軍と  
軍獨自主の立派との間に  
の製作を立つたものと  
方面を行つてゐる。

製作方面一滿洲國軍の一  
廿一全五卷七巻として  
計一種百五十冊作を製し  
三分の一は發賣計畫で  
である、弘張りに次ぐ

者だといふ生活の苦しさで、さき事ではないか。――をうつて大いなる嫌になつた作者には筆意を表し、R・D・E）

に離れなかつた。

（四）、

映畫

或はまだ大連の地溝湖の珍らしい事を世界に紹介して紹介宣傳された事は非常なるものがある、かくの如く本質的の宣傳、乃至感化せる文化化するまで感化せる畫は必然的に建國工作上必須の武器として登場、果たたのであるが、滿洲國としては根本の方策の確立を見ながら適當相當の費を費したならも積極的業績として見るべきもの少く爲に今日建國當事者はその將來なき消極的现状の打破に苦慮し、政協力に於ける兎々に興勵の昂揚に努めざる可き實情である

イ、國務院財政處 大同二

秋官區に當る各管區に於て第一富強を常務課として第二軍備擴張を常務課として又一方地方建設四組を劃したるを劃する。○一六十六年度秋官區の要綱より云ふに「地方建設支分課長陳子安」  
「州縣政府各部に於て第一位の實施機關として維持務司 これに關する密接な關係あり」  
「民政方面の發展爲に建國第一年の六月までは秋官檢閱の義務を負はねば活動檢閱の急務なり」  
この檢閱に關する規則中軍用車取附檢閱の規則を開闢地圖を起せることが實現されるものは

模範を示して、製作模範キヤ會社に頼んじめてゐる

[illegible]

十餘卷購入してゐる、生部は滿洲國內における映畫文化運動の中心たべきところであるが、來の不成續に鑑み當事は種々對策研究中にて年度中には相當の整備を冀望である。

ニ、需要部  
林野課、農務司等にお  
てそれ、圖書を用ひ  
るが、別冊の書の方策  
ない、農務司等所管の  
傳に活動、使用する程  
で其活動、稍裕的の  
ホ、興安府  
ロ、ハ、陝西關二臺お  
び十六、ハ、臺の陝西  
を備へ巡回の臺を行ふ  
度で何處かの決定も  
ざる状態である  
ハ、滿洲廳協會  
大同元年七月その總會  
狀況を結成すると雖  
二臺、四の軍駐隊會  
作製した、後工作の  
要から滿鐵の他に依  
して陝西を限置して  
たが、その重要性を痛  
し横濱の村の一の士  
先づ必需的の村の支  
企畫を、滿鐵本社に  
の局員を、滿鐵本社に

月同日十一月までの月  
々年間映画に關する學  
的講習を受けしこと、  
等四名の歸郷の上映画  
を設置した地方巡回映画  
を中心として、一方四  
行ふと同時に、一地方  
の部に養成を行ひ康復  
の部内には各地方藝文  
内に映画班の配置を見  
に至り、同年十二月に  
は宣統帝御得者二年を  
るに至つたこと等、現  
によつて巡回映画した  
数は康復二年度にして  
百餘回に達し好成績を  
し、防共協會

蘇聯、吉林、新京等に

又一方廣爲宣傳，以彰  
於防空思想普及及於  
回談會を行つてある

本日  
加木  
本園今  
招の新  
本誌新  
第三回  
附帳(一  
紙)を

[illegible]


<p>内船やげ、電話特設船 ロシヤ菓子 小包装 二一 中包装 二一 電話引受 三泰公司 電話三二七四七</p>	<p>新宮安樂 院長 佐々木 幸次郎 新大猫病 助手 佐々木 幸次郎 京大猫病 助手 佐々木 幸次郎 浦珠海産(東京) 電話三三三三三 電話三三三三三</p>	<p>タイフ印書 鶴野・立安・代書 電話二一四 新満社 電話三三三八七</p>	<p>トランプに依る運搬 日之田町九ノ二 大和運輸公司 電話三九〇八八 引越及搬運土木材料一般 農産物運搬の準備有</p>	<p>ほねつぎ 中央通 宮本 本舖 末松接骨院 電話三三三三三</p>	<p>お茶と お茶道具は 新宮吉野町一丁目 みどり茶園 電話四七三〇</p>	<p>あまふ 東一旗橋路 九州堂療院 電話三三六五〇九</p>	<p>看板ハ 玉江 電話二二八二八 新宮キキ館</p>	<p>鍼灸 あんま 電話五八八七 電話五八六六 所療治橋高</p>	<p>ハリ灸 新宮鍼灸治療院 松浦セイ子 永野町一丁目 (寶山銀行前) 電話二二七七八 電話二二七八八</p>
---	---	---	---	---	--	---	---	---	---

新衣古

**質**

大見店  
買物小  
益豐  
三廿金七品酒天

理科泉温



温泉閣

質

屋知

鐵灸

吉光堂療院

安心散

吉光堂療院

お灸

清水鍼灸院

男

家傳名灸

淋病梅毒

三回治療

無効返金

快喜堂

吉野町二丁目  
電話五五六〇

今辨慶整骨院

諸親友東正門前

電話五三六六

[illegible][illegible][illegible]



モーター

三浦

祝町  
電話

洋服類が出揃

用な流質品

シンをのん

特製品  
カネタ  
西馬  
学校  
商店  
官  
商  
店

二丁目裏小路東二條

柳屋衣

柳屋

株式會社  
新

式作理造

オはナ

三電氣蓄音機

古くて信

大經路九十五號

長岡

季節の網戸及び  
少に不拘迅速

古くて信

用ある店

木工所

ひよし障子は多  
に調製致します

各種の工に進呈

ナオラ

大阪無線電氣商会  
京大經路五番(三三)電

服店

賣店

番二五三(三)電

通り入

カステラ

御用達

製麵麴五場  
電話二八六六番

だ頭の輕い朝

の御用は

屋て

ました

三ノ三開花前  
路③三七七五

ル

社会式株造製機電土富  
所張出京新

五公堂(3) 九三ノ通英中



V-5-23

# 衰耗る肉体に 新鋭なる活力を！

黎明を仰ぐが如き健康感を満喫せられよ

夏痩せ、夏負け恢復の絶好期

酷熱九十度の暑さに痛められ、疲労衰弱せる肉體は、今や生理的に新鋭なる活力の補給を要求して居ります！  
グイタミン独自の賦活強壯作用はこの新鋭なる活力を補給すると共に夏痩せ夏負けを回復し、酷暑の中にあつて、尙黎明を仰ぐが如き健康感を満喫せしめます！

權威高きVAD劑

本劑は純良肝油中よりグイタミンAとDのみを抽出した權威高き純グイタミンA・D劑で理化學研究所の製品であります。肝油中の害成分、夾雜物は一切除去されてある爲、下痢その他の副作用は全然なく、グイタミン含量の濃厚な事は本邦市販VAD劑中第一位にあります(○標記)。而も本劑中のグイタミンは游離状態に於て含有されてゐる爲消化吸収が頗る良好で、それ文迅速且的確に榮養強壯作用を發揮します。無味無臭のグロビュール球入りで、婦人子供も喜んで服用します。

—— 裝 包 ——  
入 球 百 入 球 十 四  
入 球 千 入 球 百 五  
品 製 特 粒 小  
錢 〇 三 圓 一 入 球 十 五  
錢 〇 五 圓 二 入 球 百  
◆ ◆ ◆  
り ぁ に 部 品 藥 店 貨 百 店 藥

理研グイタミン

日英米佛伊瑞西瑞奧諾加濠印政府製法特許・帝國學士院日本化學會受賞



店 商 置 玉 社 會 式 株 店 理 代 總



# 揭下公告

一品 名

（ヘレグロビツトツン）  
例車附自動自轉車  
場所於宮內府自動車庫  
日時八月十九、二十日自午前九時  
至午後三時  
應徵四年八月廿一日午前十時  
宮內府內務處需用料  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上

二品 名

（ヘレグロビツトツン）  
例車附自動自轉車  
場所於宮內府自動車庫  
日時八月十九、二十日自午前九時  
至午後三時  
應徵四年八月廿一日午前十時  
宮內府內務處需用料  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上

三品 名

（ヘレグロビツトツン）  
例車附自動自轉車  
場所於宮內府自動車庫  
日時八月十九、二十日自午前九時  
至午後三時  
應徵四年八月廿一日午前十時  
宮內府內務處需用料  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上

四品 名

（ヘレグロビツトツン）  
例車附自動自轉車  
場所於宮內府自動車庫  
日時八月十九、二十日自午前九時  
至午後三時  
應徵四年八月廿一日午前十時  
宮內府內務處需用料  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上

五品 名

（ヘレグロビツトツン）  
例車附自動自轉車  
場所於宮內府自動車庫  
日時八月十九、二十日自午前九時  
至午後三時  
應徵四年八月廿一日午前十時  
宮內府內務處需用料  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上  
一入札保證金 百分以上

## 宮內府內務處需用科

## 乘合自動車車掌募集

今般左記に依り日攝人車掌募集す

- 一、資格
  - ◎學 歷 小學校卒業者
  - ◎年 齡 自滿十三才 至滿十八才
  - ◎募集人員 四〇名
  - 一、締切 八月二十一日
  - 一、受付場所 驛前事務所庶務係
- 希望者は履歴書、寫眞持参期日迄に來社相成度
- 八月十七日

## 新京交通株式會社

目 科 業 營  
新 疊 諸官御御用通  
表 替 藤山疊商會  
上 敷 新 京 朝 日 通 報  
電話二一四七三八番

眼鏡と双眼鏡は  
専門店清眼堂にて

市立病院眼科  
滿鐵病院眼科  
知識眼科醫院・御指定  
羽牟眼科醫院  
中山眼科醫院

清 眼 堂

前 馬 車 座 銀 座 吉 野 町  
電話（三）三二九二番

本店 吉野町一丁目 支店 祝町二丁目  
電話（清）五九二〇番 電話（新）二九八八番

電話二四八二番  
鶴殿兄弟商店  
室町公學校前



取な符通です



トモサン  
説明書進呈

連用御省内宮  
店商木鈴設舗本寮の味